

## bauma CONEXPO INDIA 2023 ファイナルレポート

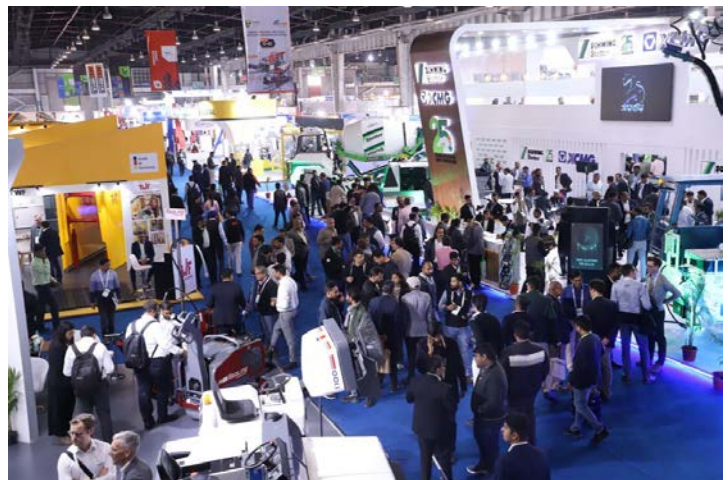
国際建設機械・建設資材製造機械・鉱業機械・建設車両専門見本市  
2023年1月31日～2月3日  
インドエキスポセンター

2023年2月3日

### bauma CONEXPO INDIA 2023 持続可能な技術にフォーカス

#### Summary

- 26カ国から600社以上の出展者  
- インド国内からの出展は過去最高
- 83カ国から41,000人以上の  
業界関係者が来場
- 官民の大手インフラ開発企業のCEO、  
中央政府・州政府の主要な意思  
決定者が60人以上参加



#### Facts & Data

会期	2023年1月31日(火)～2月3日(金) 10時～18時 (最終日のみ17時まで)
会場	インドエキスポセンター
主催	bC Expo India Private Ltd. Messe Muenchen - メッセ・ミュンヘン      AEM - 米国機器製造業協会
共催	BAI - インド建設業協会
規模	135,000 m <sup>2</sup> (2018年: 195,000 m <sup>2</sup> )
出展社数	26ヶ国から601社 (2018年: 26カ国から668社)
来場者数	83カ国から41,108人 (2018年: 63カ国から39,173人)
主な出展製品	建設機械、建設車両、リフト、コンベヤー、建設機器・工具、特別システム、コンクリート・モルタル処理・製造、型枠、足場、建設現場施設、原料抽出・鉱業機械、原料処理、材料調整技術、建材用セメント・石灰・石膏製造、コンクリート・コンクリート製品・プレハブ構成材製造機械・システム、アスファルト製造機械・システム、予混合ドライモルタル・漆喰・スクリード製造機械・システム、石灰砂岩・発電所残渣使用建材機械・システム、石膏・石膏ボード・その他装置・付属品製造機械・システム、建材輸送、包装、駆動・流体技術、発電ユニット、付属品、予備・部品、サービス、検査、測定、制御、コントロールシステム技術、通信、ナビゲーション、作業安全 など
出展日本企業 (現法出展など含む)	ウエダ産業(株)、(株)クボタ、KYB(株)、(株)小松製作所、東洋建設工期(株)、トヨタ工機(株)、(株)トプコン、ナブテスコ(株)、日立建機(株)、本田技研工業(株)、ヤンマーホールディングス(株)、油研工業(株) ほか

6 回目を迎えた bauma CONEXPO INDIA は、パンデミックを乗り越えて 2023 年 1 月 31 日から 2 月 3 日まで、インド・グレート・ノイダ/デリーの India Expo Centre で開催された。25 台以上の電動重機・ハイブリッド重機を含む 1 万台を超える製品の展示に加えて、多く会議プログラムや技術セミナーが開催され、そして、ライブデモエリアで行われた次世代製品の紹介が大きな注目を集めるなど、大盛況のうちに幕を閉じた。

今回は特にインド政府の政策立案者や産業界のトップが多く来場した。インド政府の Shri Nitin J Gadkar 道路交通高速道路海運相は、挨拶で、「電動化、ハイブリッド、バイオ燃料に対応した機械は、建設機械業界の化石燃料依存度を減らし、インフラ整備を含む業界全体の生産性とコスト効率を向上させる大きな可能性を秘めている。

今回 bauma CONEXPO INDIA の会場で新技術に触れることができたことを大変嬉しく思う」と述べた。また、会場のある Uttar Pradesh 州を代表して、産業開発・輸出促進・NRI・投資促進担当閣僚の Nand Gopal



Gupta 氏が特別講演を行い、「当州は、まもなく 6 車線高速道路が最も多いインド随一の州になることでもあり、bauma CONEXPO India が Uttar Pradesh 州で開催されたことを大変うれしく思う。過去数年にわたって産業やインフラへの大規模な投資を誘致し、製造業の卓越性を実証してきた。州を代表して、当州とインド全体の国造りへ貢献する見本市の開催を大いに歓迎する」と話した。

今回は 26 カ国から 601 社が出展し、83 カ国から 41,108 人が来場した。インド国内企業の出展が過去最多となったことは、「Make in India」に向けての推進力が強くなっていることを示していると言える。bauma CONEXPO INDIA は、メッセ・ミュンヘンが主催する bauma と AEM (米国機器製造業協会) が主催する CONEXPO-CON/AG の両者の専門性を集めたものだ。Bauma CONEXPO INDIA の会長で、Larsen&Toubro 社の Arvind Garg 氏は、「インドのインフラ開発は加速的に成長しており、当社が質の高いサービスをタイムリーに提供することを通して、市場全体の活性化に貢献できていることを誇りに思う。今回、インフラ開発のエコシステムの代表としてフォーラムに参加できて大変嬉しい」と述べた。

MB India 社 CEO の Piero Guizzetti 氏は、「今回の bauma CONEXPO INDIA では過去最高の成果が得られた。来場者が非常に積極的であり、具体的な商談を多く執り行うことができた」と語った。また、Schwing Stetter 社の Sudhakar P 氏は、「当社は bauma CONEXPO INDIA に初回から毎回出展しており、そこでは常に最高のビジネスを約束してくれる」と話した。



bauma CONEXPO INDIA 2023 では多くの電動化機械やハイブリッド機械が発表された。インド建設機械工業会 (ICEMA) 会長で Volvo CE India 代表取締役である Dimitory Krishnan 氏は、「今回の最大のハイライトは、革新的な製品を発表することによって、インド国内で急増している建設の需要に対応した持続可能な技術と業界の強いイニシアティブを示せたことだ」と語った。

bauma CONEXPO INDIA と併催された会議プログラムについて、インド建設業者協会 (BAI) 会長の Niimesh Patel 氏は、「建設機械業界は、国家プロジェクト請負の業者や会社とそのプロジェクトを予定どおりに遂行し、目的が達成でき

るよう支援することによって、国家建設に貢献している。今回この会場で開催した The All-India Constructors 会議では、インド全土から代表者が集まって重要な課題についての議論を交わすことができ、大変有意義だった」と述べた。

Bauma CONEXPO INDIA の CEO である ブッピンダー・シンは、今回のイベントを成功に導いてくれた全ての関係者に感謝の意を表し、「参加された皆さん全員の成果の大きさによって見本市が成功であったかどうかが決まる。皆さんからの声を聞く限り、今回の開催は大成功であったと判断でき、大変うれしく思う」と締めくくった。



次回 bauma CONEXPO INDIA 2024 は、グレーターノイダ/デリーの India Expo Centre で 2024 年 12 月に開催される予定。

詳細情報と最新写真は、専用ホームページ([www.bcindia.com](http://www.bcindia.com))で入手できる。

**資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:**

**メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.de](http://www.messe-muenchen.de) (英語 / ドイツ語)